

令和6年度大谷場中学校だより



おおやば

第2号

令和6年4月30日(火)発行

学校教育目標

「より高く、より広く、より深く、より強く」

さいたま市立大谷場中学校

〒336-0016 さいたま市南区大谷場2-13-54

TEL : 048-882-9962 FAX : 048-811-1336

WEB : <https://oyaba-j@saitama-city.ed.jp/>

MAIL : oyaba-j@saitama-city.ed.jp

学校WEBページ
QRコード



「心を紡ぐ」

校長 八坂和典

校庭の木々の新緑が、新学期の意気揚々とした生徒たちの気持ちを表すかのように、まぶしく光っています。新年度がスタートしてから約3週間、ようやく落ち着いてきたところで、各学年の授業の様子を見て回りました。まずは1年生。慣れない中学校生活でさぞかし緊張して、授業も静まり返っているのだろうと予想していたのですが、どのクラスも活気がある印象。物応じせず新しい先生とコミュニケーションをとり、活発に発言している様子に頼もしさを感じました。2年生は、6クラスの担任が全員持ち上がりました。そのおかげか、どのクラスも安心し、落ち着いた状態で授業や諸活動に望んでくれています。先輩としての自覚や風格が少しずつ、現れてきています。3年生は、最高学年としての自覚を持ち、朝の登校状況も授業態度も立派な滑り出し。この緊張感が最後まで続くことを期待しています。8組は、3人の先生方とクラスメイトでわきあいあいと授業に取り組んでおり、上級生が下級生をリードする姿も見られ、とても温かい雰囲気です。どの学年・学級もこの雰囲気を大切に日々、授業や学校行事等に全力で頑張っ

てほしいと思っています。5月18日(土)には体育祭が行われます。皆さんそれぞれが所属している学級や学年でこれから1年間、一致団結し、頑張っていく決意を体育祭の競技や応援、係の仕事等に全力で取り組む姿で示していきましょう。

さて、昨年度同様、私の好きな宮澤章二さんの詩を今年度も載せます。

「行為の意味」 宮澤章二

あなたの〈ころ〉はどんな形ですか と ひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも〈ころ〉は見えない けれど ほんとうに見えないのであろうか
確かに〈ころ〉はだれにも見えない けれど 〈ころづかい〉は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから
同じように胸の中の〈思い〉は見えない けれど 〈思いやり〉はだれにでも見える
それも 人に対する積極的な行為だから
あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為になるとき
〈心〉も〈思い〉も 初めて美しく生きる
それは 人が人として生きることだ。



この詩は、すべての人が持っている優しい気持ちが、たくさんのあたたかい行為となって世の中に生まれたいという思いで作られた詩です。私たちには残念ながら、他人の心を見ることはできません。でも、その行動でその人の「心」や「思い」を知ることができます。生徒の皆さんはこれから1年間苦楽をともにする仲間や先生と出会いました。新しい環境の中でも「私はあなたを大切にしています」という優しい思いを生徒の皆さんの自分らしい具体的な行動で示してほしいと思っています。そして、もう一つ大切なことは互いの行為に対して、感謝の気持ちを持ち『ありがとう』を伝えることです。人は自分一人では生きていけません。普段の生活の中で、多くの人の支えや思いやり、心づかいの中で生きています。そのことを理解したうえで、自分のために心や身を尽くしてくれた感謝の気持ちを『ありがとう』の言葉にのせ、互いの心を紡いでほしいと思っています。その積み重ねの中で、少しずつ心を通わせ、分かち合い、仲間としての素晴らしい関係を築き、充実した学校生活を過ごしていけるよう、努力していきましょう。